

2020年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/09/10	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	Whither Criminology? Crime, Justice and Social Order in a Time of Pandemic, European Society of Criminology (Eurocrim2020)		オンライン登壇
2020/10/28	招待講演(海外)	石塚 伸一 教授	Whither Criminology? Crime, Justice and Social Order in a Time of Pandemic., 2020 Global Cooperation & Training Framework (GCTF) – Workshop on Combating COVID-19 Related Crimes, 台湾		オンライン登壇
2020/09/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	共同研究の趣旨(特集 刑事手続における薬物依存への早期介入:再犯防止か?社会的支援か?), 刑法雑誌 = Journal of criminal law / 日本刑法学会 編 59(3)		
2021/03/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	刑事確定訴訟記録と学問の自由:学術に対する介入と研究者の"現在存在(Dasein)"(木下秀雄教授 福島至教授 退職記念論集), 龍谷法学 53(4)		
2021/03/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	幸徳秋水大逆事件(1911年)の研究(1)連載を始めるにあたって(木下秀雄教授 福島至教授 退職記念論集), 龍谷法学 53(4):		
2021/03/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	Whither Criminology? Crime, Justice, and Social Order during a Time of Pandemic in Japan, Ryukoku Journal of Peace and Sustainability 2020, 145, 2021-03-22		
2021/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	中谷 ござえ, 五十嵐 弘志, 石塚 伸一, 社会復帰を目指す成人男性受刑者の健康実態と健康意識:健康問題からケアニーズ抽出を目指して, 人間福祉学会誌, 20(1), 67-74, 2020	1	
2020/	論文(国内)	赤池一将 教授	刑事施設医療の改革提案をめぐる二、三の誤解について, 矯正講座 (40), 1-26, 2020		
2020/10/04	学会報告(国内)	赤池一将 教授	10月4日(日)日本犯罪学会シンポジウム「再犯防止を真剣に考える」・報告(オンライン)「刑事政策理念と再犯防止」		
2020/06/19	招待講演(国内)	赤池一将 教授	大阪弁護士会・講演(大阪弁護士会館・ハイブリッド)「刑事施設医療の課題と改革の現状」		
2020/09/17	招待講演(国内)	赤池一将 教授	日本弁護士連合会拘禁制度改革実現本部・講演(オンライン)「刑事施設の医療をいかに改革するか」		
2020/10/17	招待講演(国内)	赤池一将 教授	近畿管区(留置・刑事・少年・入管)施設視察委員会交流会・講演(大阪弁護士会館・ハイブリッド)「刑事施設における医療のあり方について」		
2020/11/15	招待講演(国内)	赤池一将 教授	救済連絡センター連続講座「獄中医療問題について考える」・講演(品川区きゅりあんイベントホール)「刑の執行と刑務所医療の現実について」		
2020/04/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「法律家のための犯罪学入門(第40回)家族と非行の犯罪学」浜井浩一, 刑事弁護 (102), 163-168, 2020		
2020/07/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「法律家のための犯罪学入門(第41回)犯罪学者が見た新型コロナパンデミック(上)」浜井 浩一, 刑事弁護 (103), 180-187, 2020		
2020/09/30	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「エビデンスからみた日本の刑事政策への提言(後編)キャンベル共同計画における系統的レビューを中心に」(犯罪学雑誌86(3))		招待あり
2020/10/	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「法律家のための犯罪学入門(第42回)犯罪学者が見た新型コロナパンデミック(下)」浜井 浩一, 刑事弁護 (104), 65-174, 2020		
2020/12/31	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「これからの社会福祉の展望 罪を犯した人や刑余者に対する支援における福祉と司法の連携」(月刊福祉104(1))		
2021/01/15	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「法律家のための犯罪学入門(第43回)矯正・保護に関するエビデンスからみた日本の犯罪者処遇への提言」浜井 浩一, 刑事弁護 (105), 135-141, 2020		
2021/02/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	介護施設化する日本の刑務所とその原因(特集 再犯防止と出所者支援), 都市問題112(2)4-8		
2020/10/28	招待講演(海外)	浜井 浩一 教授	Crime & Punishment in the Time of Covid-19 Pandemic in Japan, 2020 Global Cooperation & Training Framework (GCTF) – Workshop on Combating COVID-19 Related Crimes, 台湾		オンライン登壇
2021/02/20	招待講演(国内)	浜井 浩一 教授	日本福祉大学 ソーシャルインクルージョン研究センター 設立記念シンポジウム「万引きが止まらない高齢者 一地域でどう支えていくのか」オンライン開催		オンライン登壇
2021/02/26	招待講演(海外)	浜井 浩一 教授	The Paradox of Criminology in a 'Safe Country: Case of Japan', Cambridge Decolonising Criminology Network Seminar, University of Cambridge, UK		オンライン登壇
2020/04/01	論文(国内)	福島教授	「死刑制度論のいま:基礎理論と情勢の多角的再考(4)死刑執行と自由権規約6条4項の保障」, 福島 至, 判例時報 (2433), 140-144		
2020/09/01	論文(国内)	福島教授	最新判例批評(30)死刑確定者が吸紙への書き込み等の行為をしたことが遵守事項違反として拘留所長等から懲罰等の措置を受けたことにつき, 国家賠償法1条1項の適用上違法であるとはいえないとされた事例[最高裁平31.3.18判決] (判例評論(第738号)), 判例時報 (2448), 178-182		
2021/03/	論文(国内)	井上 善幸教授	『末灯鈔』を読むということ(深川宣暢教授定年退職記念特集号:親鸞と浄土仏教), 真宗學(143・144), 169-187, 2021-03	1	
2021/01/01	論文(海外)	武田 俊信 教授	Shirama A, Takeda T, Ohta H, Iwanami A, Toda S, Kato N. Atypical alert state control in adult patients with ADHD: A pupillometry study. PLoS One. 2020 Dec 30;15(12):e0244662. doi:	1	
2020/09/08	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	小正浩徳、廣橋諒一、武田俊信 心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査II 2020 ポスター 東京 9月8日～ 日本心理学会第84回大会		
2020/9/28	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	武田俊信、石塚伸一、長谷川直実 医療観察法通院処遇における物質使用障害～今後の有効な地域処遇に向けて 仙台(オンライン予定)2020、9月28日(ポスター)		
2020/09/28	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	武田俊信、中島陽大、井上美沙、辻由依 WAIS-III施行時における成人期のADHDの特徴的な行動 仙台 2020、9月28日(口頭発表)		
2020/10/22	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	中島陽大、武田俊信、日衛嶋郁子、前田真治MSPAにみられるASD群、ADHD群、ASD/ADHD群の評価傾向の検討 児童青年期精神医学会、神戸2020、10月22日(口頭発表)		

2020年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/10/22	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	武田俊信、長田弘和、栗田廣「乳幼児期の行動について」チェックリストの臨床的有用性に関する研究 児童青年期精神医学会、神戸2020、10月22日(口頭発表)		
2020/10/19	招待講演(海外)	金 尚均 教授	Thematic Session 2: International legal and institutional framework ,Asia-Pacific Regional Forum on Hate Speech, Social Media and Minorities		
2020/10	招待講演(海外)	金 尚均 教授	International legal and institutional framework, United Nations Office on Drugs and Crime		
2020/05/	論文(国内)	金 尚均 教授	コンテンツプロバイダに対する刑事的対応についての考察, 社会科学研究年報 (50), 189, 2020-05		
2020/09/	論文(国内)	金 尚均 教授	翻訳 ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(13), 龍谷法学 53(1)		
2020/10/	論文(国内)	金 尚均 教授	差別解消法と条例の展開: ヘイトスピーチ問題を例に展望する 企画趣旨, 法律時報 92(11)		
2021/03/	論文(国内)	金 尚均 教授	翻訳 ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(14) (木下秀雄教授 福島至教授 退職記念論集), 龍谷法学 53(4)		
2021/03/	論文(国内)	金 尚均 教授	インターネット上の表現による法益侵害の継続とその削除 (木下秀雄教授 福島至教授 退職記念論集), 龍谷法学 53(4):		
2021/03/	論文(国内)	金 尚均 教授	差別解消法と条例の展開: ヘイトスピーチ問題を例に展望する(5) ヘイトスピーチに対する刑事規制, 法律時報 93(3)		
2021/03/	出版物(国内)	金 尚均 教授	中川慎二, 河村克俊, 金尚均 編著「インターネットとヘイトスピーチ: 法と言語の視点から」明石書店, 2021.3		
2020/06/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	ドイツにおけるえん罪救済の現状と課題 (特集 冤罪救済の現状と課題) Current Situation and Issues of the Innocence Efforts in Germany, 刑法雑誌 59(1), 108-121		
2020/09/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	ドイツにおける被疑者取調べへの弁護人立会いとその理論的根拠 (小特集 可視化から弁護人立会いへ: 刑事司法改革のネクスト・ステージ)		
2020/09/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司=川崎拓也「弁護人立会の実践と理論的可能性」法律時報 92巻10号(2020年)77-80頁		
2020/12/10	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司「再審請求手続と「職権主義」」石田倫識ほか編『刑事法学と刑事弁護の協働と展望』(現代人文社、2020)		分担執筆
2020/12/20	出版物(国内)	齋藤 司 教授	「経済事犯の裁判」斎藤豊治ほか編著『新経済刑法入門』(成文堂、2020年)		分担執筆
2020/09/15	学会報告(国内)	中根 真 教授	シンポジウム 宗教的保育の実践と課題, 真宗保育研究 (26) 20 - 53		シンポジウム自体は2019年12/7,8
2020/09/15	学会報告(国内)	中根 真 教授	研究発表A-④ 歴史の中の真宗保育を問いなおす(その2) 原天隋・下奥幼児保育園を一例として, 真宗保育研究 (26) 88 - 93 2020年9月15日		シンポジウム自体は2019年12/7,8
2020/09/19	招待講演(国内)	中根 真 教授	令和2年度全国保育士養成セミナー 第7分科会 保育士のワークライフ・バランス(WLB)研究から見えてくる 保育士の働き方の課題		招待あり
2021/03/01	論文(国内)	中根 真 教授	「保育・教育相談における他機関との連携—同和保育の経験を継承した保 幼小連携に焦点をあてて—」『龍谷教職ジャーナル』第8号、2021年3月刊行予定		
2020/08/	論文(国内)	玄 守道 教授	刑事法学の動き 市川啓「間接正犯概念の淵源とその発展について—概論—, 法律時報 92(9), 137-141		
2020/03/	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 趙炳宣、韓国の性暴力犯罪に関する法と政策の現況と展望 (2・完) 龍谷法学 52(4), 1149-1171		
2020/08/20	論文(国内)	玄 守道 教授	刑事裁判例批評(400)睡眠導入剤を摂取させ自動車運転するよう仕向ける行為につき、被害者の一部に未必の故意が否定された事例[東京高裁令和元.12.17判決] 刑事法ジャーナル 65, 101-106		
2020/11/01	出版物(国内)	吉川 悟 教授	吉川悟: プリーフサイコセラピーの歴史—背景としてのエリクソンと社会「プリーフサイコセラピー入門 柔軟で効果的なアプローチに向けて」、遠見書房, pp22-30		分担執筆
2020/11/01	論文(国内)	吉川 悟 教授	吉川悟: セラピストとして成長するために、プリーフサイコセラピー研究、第28巻2号, pp.72-75		招待あり
2021/03/31	論文(国内)	吉川 悟 教授	「個人面接における対象システムと治療システムを考慮した一事例」龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要第14号 pp.9-15(予定) 廣橋諒一, 吉川悟		
2020	論文(国内)	赤津 玲子 准教授	クイズで学ぶ最新倫理 プリーフサイコセラピー研究 29(1), 37-40 足立 智昭, 佐々木 誠, 田中 究, 赤津 玲子		
2020/09/06	招待講演(国内)	赤津 玲子 准教授	赤津玲子: 学校臨床に有用な家族療法の実践, 日本家族療法学会 第37回大会ワークショップ		招待あり
2020/03/	論文(国内)	井上見津 准教授	「領解文」広布の経緯に関する研究: 能化・功存と堂達衆・玄智 (深川宣暢教授定年退職記念特集号: 親鸞と浄土仏教), 真宗學 (143・144), 213-233, 2021-03	1	
2021/09/08	学会報告(国内)	廣橋助手	心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査Ⅱ 小正 浩徳, 廣橋 諒一, 武田 俊信 日本心理学会第84回大会		
2021/03/31	論文(国内)	廣橋助手	「個人面接における対象システムと治療システムを考慮した一事例」龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要第14号 pp.9-15(予定) 廣橋諒一, 吉川悟		
2020/09/08	学会報告(国内)	小正 浩徳 准教授	「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査Ⅱ」、日本心理学会 第84回大会 (web発表)		
2021/03/01	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	教団主導型ビハラーにみるビハラー僧の宗教的ケア聞き取り調査を通して」『真宗学』第143・144合併号、2021年)	1	
2021/03/01	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「医療施設における宗教的背景と宗教家の活動形態: 質問紙による実態調査」(谷山洋三・山本佳世子・森田敬史・柴田実・葛西賢太・打本弘祐共著『東北宗教学』第16号、2021年)	1	
2021/03/01	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「宗教系病院における死亡した非信者患者及びその家族への宗教者によるケア」(山本佳世子・葛西賢太・打本弘祐共著『天理医療大学研究紀要』第9巻第1号、2021年)	1	

2020年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/09/16	招待講演(国内)	打本 弘祐 准教授	「ビハラー活動の展開と現状および臨床宗教師やビハラー僧教育」 岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所 国際シンポジウム		招待あり
2020/09/19	学会報告(国内)	打本 弘祐 准教授	「ビハラー僧による非信者への宗教的ケア」日本宗教学会第79回大会 パネル「医療現場における宗教者による非信者への宗教的ケア」		
2020/11/10	学会報告(国内)	打本 弘祐 准教授	「教団主導型ビハラーにみるビハラー僧の宗教的ケア:ビハラー僧 への聞き取り調査を通して」龍谷大学真宗学会第74回学術大会 オンライン		
2021/01/01	論文(国内)	佐々木准教授	『無量寿経』末尾の読解について		
2021/03/	論文(国内)	能美 潤史 准教授	「御文章」における「たのむ」の使用法について, 真宗学 143・144 261-275 2021年3月	1	
2021/03/	論文(国内)	内手 弘太 准教授	普賢大円の実践論: その形成過程を通して(深川宣暢教授定年退 職記念特集号: 親鸞と浄土仏教), 真宗学 (143) 301-324 2021 年3月	1	
2020/09/30	論文(国内)	古川原 明子 准教授	「終末期の受刑者とファースト・ステップ法: Compassionate Releaseの拡大と課題」		
2020/10/01	論文(国内)	古川原 明子 准教授	「高齢受刑者と末期受刑者に関する処遇—イギリスの実践」		
2020/07/07	論文(海外)	デビッド・ブルースター 研究員	Crime Control in Japan: Exceptional, Convergent or What Else?, David Brewster, The British Journal of Criminology	1	
2020/11/12	論文(海外)	デビッド・ブルースター 研究員	Negotiating the family order and the initiation of methamphetamine use in Japan「日本における交渉される家族秩 序および覚せい剤使用の開始」, Criminology & Criminal Justice	1	
2020/04/11	出版物(国内)	牧野 雅子 研究員	「フラワーデモを記録する(フラワーデモ編)」, 牧野雅子「声をつな ぐ」, エトセラブックス 2020年		
2020/05/01	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	痴漢という性暴力 婦人通信 (732)		招待あり
2020/05/01	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	性暴力被害者のリアルと、法の中のファンタジー エトセラ (3)		招待あり
2020/07/01	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	「性暴力の根絶をめざして—痴漢とはなにか—」, 人権と部落問題 72(7) 30 - 37 2020年7月		招待あり
2020/10/01	出版物(国内)	牧野 雅子 研究員	増補 刑事司法とジェンダー インパクト出版会		
2020/11/08	学会報告(国内)	牧野 雅子 研究員	性暴力はどのように理解、解釈されてきたのか オンライン・シンポ ジウム「性暴力をめぐる理解の「歪み」を問い直す」共催: 大阪府立 大学女性学研究中心・大阪市立大学人権問題研究センター— 般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)		招待あり
2021/01/16	招待講演(国内)	牧野 雅子 研究員	「性暴力に対する社会の偏見を考える」大阪YWCA		招待あり
2020/06/01	論文(国内)	上田 光明 研究員	国際自己申告非行調査(International Self-Report Delinquency Study: ISRD)の日本における展開, 上田光明, 相澤育郎, 大塚英理 子, 罪と罰 57(3) 60 - 72 , 日本刑事政策研究会		招待あり

11

▼2020年度集計

論文(国内)	47	→うち査読付き論文: 8
論文(海外)	3	→うち査読付き論文: 3
出版物(国内)	5	
出版物(海外)	0	
学会報告(国内)	13	
学会報告(海外)	1	
招待講演(国内)	9	
招待講演(海外)	5	
計	83	